

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB CHARTERED IN 2004		4 - 1 6 - 1 9 NAKACHO AT SUGI KANAGAWA JAPAN 〒 2 4 3 - 0 0 1 8 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2013年6月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第106号

主 題 万年クラブ会長 佐藤湘南・沖縄部部长 駒田東日本区理事 アジア会長 国際会長

ささやかな祈りがあるとすれば、自分以外の周囲に心を寄せる
コミュニケーションを深め、耕す土壌の活性化を！
創造 多様性を活かして イノベーション
歳月は Y's をワイズ（賢者）にする
世を照らす光となろう

今月の聖句（強調月間：評価）

**幸いなことよ、知恵を見いだす人、英知をいただく人は。
その儲けは銀の儲けにまさり、その収穫は黄金にまさるからだ。**

新改訳聖書箴言3章13～14節 選/川口知幸

4月例会報告

卓話 講師 田中博之さん
より生き活きとしたクラブになるためのヒント



パソコン教室でわかりやすく教えていたり、ただいたり、大変お世話になっている田中さんにお話をいただきました。お話し

席、会費の納入、活動への積極的参加を指す。ワイズメンズクラブの目的は第一に YMCA のためのサービスクラブとして活動、ワイズメンズクラブにふさわしい団体の支援、倦むことなく正義の追求、会員の啓発、健全な交友関係を作り出すことなど。またワイズメンズクラブは世界で約1,600クラブ、会員数約2万9千人。アジアには東・西日本区、台湾、南東アジア、スリランカ、フィリピンの各区があります。

ワイズメンズクラブの主な事業は YMCA サービス、YMCA の支援、YMCA 活動への参加、CS 地域社会に対する奉仕活動、お馴染みの TOF, BF、など多彩です。

ワイズメンズクラブの歴史から始まりました。

1844年ロンドンに YMCA が創設され、1920年米国にワイズメンズクラブが誕生、1922年には国際協会に発展、1928年大阪に日本初の大阪クラブが国際協会に加盟、1947年日本国際協会に復帰。1997年日本区を東西に分割。2004年厚木クラブ国際協会に加盟。2010年横浜で国際大会開催。

このようなクラブであります。例えば厚木クラブの会員の平均年齢は67.4歳、東日本区全体の平均年齢は60.9歳、いずれも高齢化している。そのほか会員数が増えない、活動がマンネリ化しているなど問題も指摘されている。これにどう我々は対処していくか。

国際協会のモットーは「強い義務感を持つと義務はすべての権利に伴う」具体的には例会への出

そこで田中さんは30項目からなる例会のチェックリストを示され、クラブの活性化に役立たせ

例会データ	5月	在籍会員	19人
会員	12人	メイキャッツプ済み	
ビジター	2人	出席率	
ゲスト	1人		
合計	15人		63%

例会のご案内	会長	万年 孝助
原則として第4水曜日	副会長	石井 芳隆
18時半から2時間	副会長	谷口 四郎
お問い合わせ先	書記	小林 秀
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	会計	岩淵 正弘

るよう勧められました。

みなさんはどう感じられましたか。私ども明るく楽しい例会を目指してきましたが、私小林はチェックリストの説明を伺って、まだまだこれからの課題とすべき項目がいくつもあることに気がつきました。極めて独断的ですが、改善の要ありと感じました項目を挙げさせていただいてみました。改めるべきところは改め、さらに生き活きたクラブを目指し進みましょう。

小林の感じた改善すべき項目

出席率 80%を目標に、現在の実績年平均 68%

メイキャップが積極的に行われていない

(月の例会欠席の場合、他クラブの例会に出席しメイキャップを行う)

ゲスト、ビジターがまだ少ない

メネットの参加がない

司会、受付の固定化

例会の運営の新しい工夫、取り組みが必要
以上です。

とてもクラブ運営の刺激になりました。

ありがとうございました。

(小林 秀記)

「私が変わる、社会が変わる ボランティアとは生活創造者」

日本ボランティア学習協会理事 こうろき ひろし 興梠 寛先生

ボランティアという少し構えて考えがちですが、できるところから「いつでも」「だれでも」「どこでも」できるボランティアライフをすすめています。それは日常生活の中に例えば、

- ・気持ちよい言葉を贈る生活
- ・スローな衣・食・もの・遊び生活
- ・花と緑をともに愛でる生活
- ・もつたいないエコ消費生活
- ・智慧や技のおすそわけ生活
- ・アートや音楽を分かち合う生活
- ・言葉をかけ合う街育て生活
- ・災害に負けない絆づくり生活
- ・世界の市民とつながる生活

というような要素を加え、または意識するところ

から始まります。

自然でさりげなく おもいやり 生活を楽しむ
そんな暮らしが人や地球の役に立つなんて、とても素敵なライフスタイルだと思いませんか。きっとピュア（純粋な心）な快感でつつんでくれるでしょう。

そしてボランティアライフを通して、自分を必要としてくれる社会に目覚め、そのことを通して意味ある自分にきっと出会えるでしょう。

(日野原重明先生の「新老人の会」5月号に掲載されたお話の一部を載せさせていただきました。)

なお興梠先生は新聞社勤務時代に、新聞記者として文章を書いてもそれだけでは社会は変えられないことを痛感し、退職してイギリスに留学し、「世界のボランティアの父」と呼ばれるアレックス・ディクソンのもとで学ばれました。)

6月行事予定

6月8～9日(土、日)第16回東日本区大会

岩手県花巻市にて、当クラブからの出席予定者は8人です。

6月9日(土)午後大会終了後、陸前高田市高田高校仮設住宅に熊谷自治会長、佐藤文子アート・セラピストのお二人を短い時間ですが大会出席の当クラブ会員全員で慰問の予定です。

差し上げるのにふさわしいものがありましたらご提供ください。持参してお渡ししてきます。

衣類支援以来一貫してお世話役を千葉さんにお問い合わせしており、本件の質問先、ご提供品預かり先も千葉さんにお問い合わせしておりますのでよろしく。

6月15日(土)湘南・沖縄部評議会

於 横浜中央YMCA

6月25日(火)14時～ うたごえひろば

前回から開催時間30分前から会場を開放。

うたごえひろば参加者のおしゃべりの場として使っていただく試みを始めています。

6月26日(水)厚木クラブ定例総会 18時半～

選出された新年度役員の承認、1年間の活動報告、来年度の方針、会計報告、予算の審議等盛り沢山の審議が予定されております。

是非ともご出席くださいますように、欠席の場合は委任状を書記までご提出ください。